

平成27年3月期 中間決算の概要

当期の日本市場においては、前期に引き続き、震災復興工事の本格化や景気の緩やかな回復を背景に公共工事や民間工事が増加し、主として更新目的による新車購入が進んだ結果、クローラクレーン新車需要は対前年同期比22%の増加となりました。

また海外では、先進国市場においては北米が経済の緩やかな回復が見られる一方で、西欧は依然低迷しており、需要は微増に留まりました。一方、新興国市場におきましては、中国を除くアジア地域は堅調に推移しましたが、中国は経済成長の減速に伴い減少し、全体では需要は減少しました。

こうした市場環境に加えて、円安定着などによる資材費上昇が進んだものの、当社は原価低減や固定費低減など各種体質強化策に取り組んだ結果、当中間期の業績は以下の通りとなりました。

【平成27年3月期中間の経営成績（連結）】

(%表示は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当中間期	20,234	19.0	2,686	134.2	2,682	131.2	1,376	66.4
前中間期	16,999	25.0	1,147	131.3	1,160	162.4	827	272.5

国内事業については、新車需要の増加により販売台数が増加し、またサービス事業の拡充にも努めた結果、当中間期の国内売上高は11,602百万円（前年同期比16%増）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V.、中東地域では、Hitachi Construction Machinery Middle East Corp. FZEなど各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援、サービス支援や新興国市場の開拓などに努めて、当期の海外売上高は8,632百万円（前年同期比22%増）となりました。

世界経済は今後も先行き不透明な状況が続くと予想され、クローラクレーン市場の世界需要においても急激な増加は見込まれませんが、当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進と開発力の強化
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費比率の低減
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)

日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部

Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>